

	公表	事業所における自己評価総括表	
--	----	----------------	--

○事業所名	Kきっずおおひら		
○保護者評価実施期間	R6年11月12日		R6年12月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 16
○従業員評価実施期間	R7年1月8日		R7年1月24日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースが広く確保されている。	活動部屋の目的を視覚的に明確にするために学習や遊びのスペースのカーペットの色を分けている。学習に集中できるよう、スペースの間にアコーディオンカーテンを設置し、必要に応じて区切っている。	学習・課題や遊びに取り組む際のプログラムを充実させて、利用児童が楽しく参加出来るようにする。
2	利用児童の意思の尊重、自己選択できるような声掛けを心掛けている。	基本的な集団行動と別に、個別の時間の活用について、児童と相談しながら取り組んでいる。	
3	スタッフの研修受講の機会が多く提供されている。	会社としての内部研修(管理者、児発管、支援スタッフなど)を企画運営の他、外部研修に参加するなどし、それぞれの専門知識や意欲の向上を図っている。	年間計画により実施しており、年度内に見直しや次年度に必要な研修内容の検討を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外遊びのスペースが狭い、道路に面していて危険うを感じる。	駐車場の一部を活用しており、特にボール遊びは道路に面していることから出来ない状況。その他の遊びはできる環境だが、危険が無いとは言えない状況。	遊ぶ際のルール説明と、危険回避のためのスタッフ配置等、常に考えられる行動をして改善していく。また、近隣の公園等へ出向き運動の時間を確保していく。
2	バリアフリー化など環境の改善をした方がよい。廊下や特に玄関の段差は改善した方がよい。	用途が違う物件の為、バリアフリーに対応していない。	玄関に段差を追加して昇降しやすくする等、出来る範囲で改善を進めていく。